



2020年4月30日

各 位

会社名 株式会社今仙電機製作所
 代表者 代表取締役 櫻井 孝充
 社長執行役員
 (コード番号: 7266 東証・名証第一部)
 問い合わせ先 グローバル経営事業部 井上 達嗣
 執行役員
 TEL 0568-67-1211

連結業績予想の修正及び減損損失計上に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2019年11月8日に公表しました2020年3月期(2019年4月1日～2020年3月31日)における通期連結業績予想を下記の通り修正するとともに、減損損失を計上することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2020年3月期 通期連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 112,000	百万円 3,000	百万円 3,100	百万円 2,100	円 銭 100 90
今回修正予想(B)	112,000	2,700	2,800	500	24 02
増減額 (B-A)	—	△300	△300	△1,600	
増減率 (%)	—	△10.0	△9.7	△76.2	
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	118,579	3,740	3,691	2,474	118 98

2. 業績予想の修正理由

通期の連結業績予想については、営業利益において、立上りロスの発生及び生産変動への対応の遅れ等があり想定利益を下回る見込みとなりました。親会社株主に帰属する当期純利益においては、営業利益影響に加え、北米子会社における減損損失の計上、当社における投資有価証券の評価損の計上や繰延税金資産の一部を取崩したことなどにより前回発表を下回る見込みとなりましたので、上記の通り修正いたします。

3. 減損損失の計上および内容(連結決算)

北米の連結子会社イマセン ビュサイラス テクノロジー インク、イマセン メキシコ テクノロジー エス エー デシー ブイが有する事業用資産について、現在の事業環境や今後の見通しなどを勘案し、将来の回収可能性を検討した結果、合計605百万円の減損損失を計上する見込みです。

4. 関係会社株式評価損、貸倒引当金繰入額の計上(個別決算)

上記連結子会社における減損損失の計上等に伴い、当社は2020年3月期の個別決算において、関係会社株式評価損463百万円、貸倒引当金繰入額774百万円を計上する見込みです。

なお、関係会社株式評価損及び貸倒引当金繰入額については、連結業績への影響はありません。

(注)上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

以 上